

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

第2期由布市まち・ひと・しごと創生推進計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

大分県由布市

### 3 地域再生計画の区域

大分県由布市の全域

### 4 地域再生計画の目標

由布市は、2005年10月に、挾間町、庄内町、湯布院町の3町が合併して誕生した。全国屈指の温泉地として知られ年間404万人の観光客が訪れる観光地でもある由布院温泉を有する湯布院地域、豊かな自然と農村や庄内神楽等の文化的資源を有する庄内地域、県都大分市のベッドタウンであり教育・文化・医療・商業施設等の都市機能が集積する挾間地域は、時代の変遷とともにそれぞれの地域の特色を背景に地域産業が発展してきた。本市の産業別人口は、医療・福祉、卸売業・小売業、宿泊業・飲食サービス業の従業者が突出しており、それに農林業、公務等が続いている。就業者数は、直近の国勢調査（2020年）では15,531人であり、前回調査（2015年）は16,339人であるため5年間で4.9%減少している。その要因は少子高齢化や生産年齢人口の転出、若者の価値観の違いやミスマッチなどが原因の一つであると考えられる。また本市の人口も1985年の35,945人をピークに減少が続いており、直近の国勢調査（2020年）では、32,772人まで落ち込んでいる。国立社会保障・人口問題研究所によると、現状のペースでは2030年には約7.3%減少し、なかでも15歳以上65歳未満の人口である生産年齢人口は同期間に7.6%減少となる見込みである。

本市の自然動態については、自然減少の状態が現在まで続いている。本市の平均寿命は、男性81.7歳、女性87.84歳で、今後も続く高齢化の進行とと

もに、出生数も2009年の315人を最高に、2024年では199名と減少傾向にあり、今後人口の自然減は加速すると見込まれている。その要因は20歳から29歳の女性人口が著しい減少傾向にあり、出産適齢期の女性人口の減少が大きな要因と考えられる。

本市の社会動態の推移を見ると、2011年から2020年まで転出超過の傾向が続いていたが、2021年から転入者（1,582人）が転出者（1,497人）を上回っており、2024年も転入者（2,062人）が転出者（1,727人）を上回る状況が続いている。その要因としては、県都大分市に隣接する挾間地域の宅地化に伴う子育て世帯の転入や移住施策の充実により転入者が増えたことなどが考えられる。しかし、転出者が2021年から2024年まで増加しており、特に若者の転出については、雇用機会の少なさに加え、選択肢が少ない事が原因の1つであると考えられる。

労働力の中核である生産年齢人口の減少が進むと、従業員の確保が難しくなってくる。近年、本市の有効求人倍率は2.82（2024年度平均）で、県内で最も高い水準で推移しており、人手不足、後継者不足、働き方改革への対応等の課題に直面している。

#### 【地域の課題】

本市の人口は上記のとおり、現在ではピーク時の1985年の人口の約9割と減少幅は小さいものの、このまま自然減が加速した場合は、地域コミュニティの運営が難しくなり、また市内経済や産業の衰退が懸念されている。

市外への転出者が多い若者が希望する魅力ある雇用機会を創出することで若者の市外への流出を抑制し、基幹産業である観光業・農業への波及効果を与え、市内経済と産業の衰退を防止することが、本市の課題である。

#### 【目標】

これらの課題に対応するため、市民の結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現を図り自然増につなげる。また、移住をさらに促進するとともに、安定した雇用の創出や地域を守り活性化するまちづくり等を通じて、転出者の減少に歯止めをかける。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げる。

- ・基本目標Ⅰ みんなで支え合う、安心・安全なまちづくり
- ・基本目標Ⅱ 誰もが健やかに暮らせるまちづくり
- ・基本目標Ⅲ 豊かな環境の中で快適な暮らしができるまちづくり
- ・基本目標Ⅳ 人や文化を育むまちづくり
- ・基本目標Ⅴ 生業をつなぎ、地域が潤うまちづくり
- ・基本目標Ⅵ 由布の魅力発信ファンとつながるまちづくり

### 【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (令和12年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	自主防災組織数	52団体	58団体	基本目標Ⅰ
ア	防災講話数	35回	35回	基本目標Ⅰ
ア	緊急自動車更新台数(常備施設)	0台	4台	基本目標Ⅰ
ア	資機材等整備件数(常備消防)	0件	8件	基本目標Ⅰ
ア	防火水槽設置数	0基	3基	基本目標Ⅰ
ア	車両更新台数(非常備消防)	0台	15台	基本目標Ⅰ
ア	資機材等整備地区数(非常備消防)	6地区	30地区	基本目標Ⅰ
ア	訓練、研修等の延べ参加人数(非常備消防)	2,000人	10,000人	基本目標Ⅰ
ア	自主防災組織活動交付金交付団体数	19団体	30団体	基本目標Ⅰ
ア	自治会への防災士配置率	69%	77%	基本目標Ⅰ
ア	由布市公式アプリ「ゆふポ」ダウンロード数	9,179回	11,000回	基本目標Ⅰ

ア	収支率10%以上の路線数	4路線	6路線	基本目標I
ア	便平均2人未満のユーバス路線数	13路線	7路線	基本目標I
ア	ユーバス利用者数	25,772人	25,772人	基本目標I
ア	ユーバスの1便当たりの乗車人数	2.7人	2.7人	基本目標I
ア	免許返納者へのユーバス無料券の交付数・タクシー補助券の交付数	134件	160件	基本目標I
ア	移動困難者、買物困難者等への支援取組数	2件	4件	基本目標I
ア	由布市と地域まちづくり協議会の連携取組数	69件	90件	基本目標I
ア	由布市から支援・助成を受けて開催されたイベントや地域情報発信等の事業数	49件	70件	基本目標I
ア	市報ゆふや由布市公式SNS等による地域コミュニティ情報の発信数	23件	40件	基本目標I
イ	健康づくりリーダー派遣者数	371人	700人	基本目標II
イ	ICT(情報通信技術)活用事業数	22件	28件	基本目標II
イ	乳幼児検診受診率	1.6歳児 95.5% 3	1.6歳児 100% 3歳児 10	基本目標II

		歳児 9 8.1%	0%	
イ	妊娠・出産について満足している人の割合	92.6%	100%	基本目標Ⅱ
イ	特定健診受診率	46.5% (R5年度)	60%	基本目標Ⅱ
イ	女性がん検診受診率(40歳～69歳)	子宮頸がん 9.9% 乳がん 13.6%	子宮頸がん 15.9% 乳がん 16.9%	基本目標Ⅱ
イ	メタボリックシンドロームの該当者および予備軍の割合(40～74歳)	該当者 23.3% 予備群 13.6% (R5年度)	該当者 20.6% 予備群 11.2%	基本目標Ⅱ
イ	高齢者通いの場の参加率	18.2%	21.0%	基本目標Ⅱ
イ	食育事業の参加者数	721人	900人	基本目標Ⅱ
ウ	水環境創出事業・調査研究件数	3件	5件	基本目標Ⅲ
ウ	環境学習会等開催数	40回	45回	基本目標Ⅲ
ウ	上記2つの取組へ担い手として参加した市民の数	800人	900人	基本目標Ⅲ
ウ	ごみのリサイクル率	10.8%	11.4%	基本目標Ⅲ
ウ	一人あたりの家庭ごみ排出量	603.9 g/日	565.7 g/日	基本目標Ⅲ
ウ	河川水質基準の達成率	90%	95%	基本目標Ⅲ
ウ	森林整備面積	84ha	204ha	基本目標Ⅲ

ウ	マイナンバーカードを活用した電子申請システム 手続数	51件	71件	基本目標Ⅲ
ウ	電子申請システム利用者 数	10,138人	12,000人	基本目標Ⅲ
ウ	人口動態における社会増 減	+335人	+200人	基本目標Ⅲ
ウ	県外からの移住者数	205人	240人	基本目標Ⅲ
ウ	空き家バンク登録件数	21件	40件	基本目標Ⅲ
ウ	空き家バンク成約件数	13件	30件	基本目標Ⅲ
ウ	補助金活用による空き家 の除却件数	3件	5件	基本目標Ⅲ
ウ	都市公園数および面積 (総数)	公園数 4 4公園 面積 1 0.81ha	公園数 48 公園 面積 11.3 0ha	基本目標Ⅲ
エ	こどもの居場所づくり（ 放課後児童クラブ、児童 育成支援拠点、地域子育 て支援拠点）	放課後児童 クラブ 1 9施設 児 童育成支援 拠点 0施 設 地域子 育て支援拠 点 4施設	放課後児童ク ラブ 19施 設 児童育成 支援拠点 1 施設 地域子 育て支援拠点 4施設	基本目標Ⅳ
エ	放課後児童クラブ利用定 員数	685人 (R7年 度)	720人	基本目標Ⅳ
エ	子育て相談件数（利用者 支援事業特定型）	230件	230件	基本目標Ⅳ

エ	保育所待機児童数（潜在含む）	7人	0人	基本目標Ⅳ
エ	「由布の学び検定」受験者数	566人	650人	基本目標Ⅳ
エ	読み聞かせ参加者数	1,931人	2,100人	基本目標Ⅳ
エ	地域人材派遣者数	510人	800人	基本目標Ⅳ
エ	「地域とともにある学校」づくりの推進に向けて体制が整っている小・中学校の割合	小学校 100% 中学校 100%	小学校 100% 中学校 100%	基本目標Ⅳ
エ	全国学力・学習状況調査にて、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」と回答した児童・生徒の割合	小学校 70.3% 中学校 9.9%	小学校 80% 中学校 76%	基本目標Ⅳ
エ	公民館講座受講者数	1,166人	1,700人	基本目標Ⅳ
エ	公民館施設利用者数	117,826人	135,000人	基本目標Ⅳ
エ	スポーツイベント参加者数	838人	1,220人	基本目標Ⅳ
エ	由布市家庭教育講座（サロン）の受講者数	371人	450人	基本目標Ⅳ
エ	子ども司書の認定者数	7人	40人	基本目標Ⅳ
オ	新規就農者数	7人	10人	基本目標Ⅴ
オ	ファーマーズスクール研修者数（累計）	7人（R2～6年度）	10人（R8～12年度）	基本目標Ⅴ
オ	就農フェア等参加回数	5回	9回	基本目標Ⅴ

オ	新規参入企業数	0	R12年度までに2企業参入 または交渉件数5	基本目標V
オ	主要農産物（梨、イチゴ、白ネギ、あまねぎ）の生産者数 ※生産部会加盟数	梨 30人 いちご 15人 白ネギ 16人 あまねぎ 29人	梨 30人 いちご 20人 白ネギ 20人 あまねぎ 29人	基本目標V
オ	学校給食への由布市産農産物使用率	28.18% (R7年度)	30%	基本目標V
オ	地元食材を活用した献立率	68.38% (R7年度)	76%	基本目標IV
オ	食農業教育開催数	5回	10回	基本目標V
オ	食文化PR活動開催数および郷土料理提供食数	開催数 6回 郷土料理提供数 11回	開催数 8回 郷土料理提供数 20回 ※3月と8月を除く10ヶ月×2回を目標	基本目標V
オ	異業種交流会の開催数・参加者数	開催数 2回 参加者数 50人	開催数 2回 参加者 60人	基本目標V
オ	異業種交流グループ活動	2件	2件	基本目標V

	件数			
オ	ゆふマッチボックス採用 人数	195人	350人	基本目標V
オ	企業立地促進助成による 新規雇用者数	10人(R 7年度)	10人	基本目標V
オ	新規創業件数	8件	10件	基本目標V
オ	事業承継相談会件数	1件(R7 年度)	2件	基本目標V
カ	年間宿泊客数	1,389,000 人	1,425,000 人	基本目標VI
カ	年間観光客数	4,042,000 人	4,250,000 人	基本目標VI
カ	年間観光消費額	25,933,000 千円	28,698,000 千円	基本目標VI
カ	対外的プロモーションイ ベントの開催回数	1回	2回	基本目標VI
カ	由布市公式SNS等によ る観光情報の発信回数	250回	350回	基本目標VI
カ	メディア出演本数	44本	55本	基本目標VI
カ	移住施策を活用した移住 者数	96人	120人	基本目標VI
カ	移住相談会等の相談者数	20人	35人	基本目標VI
カ	移住特設サイトにおける 「由布日記」の投稿数	8件	12件	基本目標VI
カ	ふるさと納税寄附額	10.2億 円	13.7億円	基本目標VI

カ	神楽公演回数	7回	7回	基本目標VI
カ	神楽イベント参加者数	3,000名 (H29～R6年度平均)	3,600名	基本目標VI
カ	神楽体験	5回	5回	基本目標VI
カ	由布市公式LINE登録者数	3,513人	5,200人	基本目標VI
カ	農泊体験者数	200人	250人	基本目標VI
カ	アドベンチャーツアー等アクティビティ体験者数	240人	300人	基本目標VI

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2のとおり。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

#### ① 事業の名称

第2期由布市まち・ひと・しごと創生推進事業

ア みんなで支え合う、安心・安全なまちづくり事業

イ 誰もが健やかに暮らせるまちづくり事業

ウ 豊かな環境の中で快適な暮らしができるまちづくり事業

エ 人や文化を育むまちづくり事業

オ 生業をつなぎ、地域が潤うまちづくり事業

カ 由布の魅力発信ファンとつながるまちづくり事業

#### ② 事業の内容

ア みんなで支え合う、安心・安全なまちづくり事業

地域の防災体制を柔軟に見直し、さまざまな立場の人々が連携した、持続可能な防災の仕組みをつくり、地域の実情を見つめ直し、多様な視点とデータを活かしながら、福祉・医療、教育、商工分野等と連携した横断的な施策を推進することで、誰もが快適に利用できる交通のあり方を再構築し、世代や立場を超えて、地域住民が交流・参画できる地域コミュニティを育み、地域の活力を創出する事業

【具体的な事業】

- ・災害対策環境整備事業
- ・地域活力創造事業 等

イ 誰もが健やかに暮らせるまちづくり事業

すべての世代が心身ともに健やかに暮らせるよう、多角的な支援と情報発信を行い、一人一人の健康づくりを支援する事業

【具体的な事業】

- ・成人保健の推進
- ・健康立市推進事業 等

ウ 豊かな環境の中で快適な暮らしができるまちづくり事業

地球温暖化対策やカーボンニュートラルの実現等に向けて、環境保全への意識向上を図り、ごみの減量から自然資源の保護まで、幅広い取組を推進するとともに、新しい技術を積極的に取り入れることで行政サービスのデジタル化を推進して、行政運営の効率化や市民の利便性向上を図り、住宅・道路・公園といった地域住民の生活の場となるインフラ施設の整備・管理を適切に行い、他の分野とも連携しながら、住みよい環境づくりを行う事業

【具体的な事業】

- ・みんなで取り組むごみ減量化事業
- ・由布市に住みたい事業 等

エ 人や文化を育むまちづくり事業

子育て世代の実情や多様なニーズを捉えながら、地域で子育てを支え合う意識を育み、子育て支援事業の情報を積極的に発信することで、誰もが安心して子育てできる支援体制を整え、由布市の豊かな環境を活かしつつ、市民の関心や多様なニーズに寄り添い、生涯を通じて豊かな学びや交流を楽しめる仕組みを構築する事業

【具体的な事業】

- ・保育施設整備事業
- ・地域協育推進事業 等

オ 生業をつなぎ、地域が潤うまちづくり事業

今後の農業を持続可能なものにするために、儲かる農業を実現することで、新規就農者の定着や企業の参入を図り、産業としての魅力向上に取り組み、新たな挑戦に前向きな企業・起業を地域に迎え入れ、関係機関が連携しながら、誰もが心地よく働ける環境づくりを推進する事業

【具体的な事業】

- ・就農支援事業
- ・商工振興活性化事業 等

カ 由布の魅力発信ファンとつながるまちづくり事業

”住んでよし、訪れてよし”の「滞在型・循環型保養温泉地」の観光まちづくりを、さらに発展的に継承するとともに、由布市の各地域の多様な魅力を十分に活かし、積極的な情報発信を行うことで、交流人口を増やす。また、地域とのつながりを深める仕組みづくりにより、関係人口（由布の熱心なファン）を増やして、最終的には移住・定住者の創出を図る事業

【具体的な事業】

- ・観光振興事業
- ・定住および移住推進事業 等

※なお、詳細は第3期由布市総合戦略のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

1,000,000千円（2026年度～2030年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度7月に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに由布市公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで

**6 計画期間**

2026年4月1日から2031年3月31日まで